

オールシーズンに対応する YOROI パーフェクトガードシステム・エアリーパッドを採用。

通気性と衝撃吸収性が格段にアップ！強靱かつ、パッドの総重量を超軽量化した POWER タイプ。今期より、ほぼ全パッドに PE ボードを内蔵し、にも PE ボードを内蔵し、低反発素材の品質もアップグレードしたことで、さらに衝撃吸収値が増しました。

どれもアクティブな身体の動きにもしなやかにフィットする形状で、好みや体型、アクション・シーンに合わせてお選び下さい。

YOROI POWER JACKET

ヨロイ パワージャケット

YR 611 size : W・S・M・L・XL color : NJB・CAMO

フロントは 2.5mm、バックには 4.5mm の特殊ハニカムメッシュを使用。前後の厚みの違いで、プロテクション効果と着用しやすさを実現。



AIRLY



2.5



HORNET



YOROI



EVA



HD



KUSABI



WASHABLE



体幹サポート



DOUBLE ARM STRAP



RECOVERY HOOK



WET SUIT MATERIAL



WASHABLE



WASH NET



Keep



W



体幹サポート

ウエストベルトを締めることで、体幹をしっかりサポート。正しい姿勢のキープによる運動神経伝達力のフォローが期待でき、安全性を高めます。



YOROI

PROTECT

フロントにも PE ボードを内蔵。アバラをよりしっかりガード！

バックパッドに PE ボードを内蔵。

YOROI POWER VEST

ヨロイ パワーベスト

YR 511 size : W・S・M・L・XL color : NJB・CAMO

フロントは 2.5mm、バックには 4.5mm の特殊ハニカムメッシュを使用。

■ 素材の硬度比較



フロントにも PE ボードを内蔵。アバラをよりしっかりガード！



YOROI

PROTECT



強靱かつ超軽量!!
日本古来の鎧を現代に復活
ボディー全体が特殊ハニカムメッシュ!
全身、どこでも高い衝撃吸収力!

※ボディー切替縫製の箇所や、2.5mmハニカム部分は除く

ALL SPORTS PROTECTOR

4.5mmハニカムボディ⇒衝撃吸収&体温調整
 2.5mmハニカムボディ⇒体温調整機能!
 ※暑い時には放熱し、寒い時には保温します。



AIRLY
蒸れにくい



QUICK DRY
吸汗速乾



WASHABLE
洗濯可能

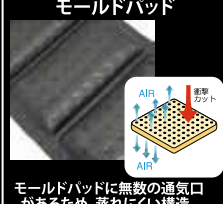
多層構造のYOROIパーフェクト・パッド



メッシュガード
 ファブリック (HDのみ)
 モールドパッド (EVA)
 通気口を無数に開けた
 PE-HARD-BOARD
 (センターパッドのみ)
 通気口を無数に開けた
 低反発パッド
 特殊ハニカムメッシュ
 (ポリエステルショック吸収素材)

衝撃を分散
段階的に吸収

**軽量化された通気性の良い
モールドパッド**



モールドパッドに無数の通気口があるため、蒸れにくい構造。

YOROI POWER LONG

YR 711 size : W・S・M・L・XL color : NJB・CAMO

ヨロイ パワーロング



YOROI POWER SHORT

YR 811 size : W・S・M・L・XL color : NJB・CAMO

ヨロイ パワーショート



FRONT

BACK

column 和の心 宮本武蔵

宮本武蔵の五輪書には、頤（おとがい）を出す、とある。頤とは下アゴのことで、耳の穴と鼻の穴を結んだ線が地面と平行になるくらいの角度である。剣道では、遠い山を見るように相手をみる、と言って、このフェース角度を基盤とした目付けを、遠山（えんざん）の目付け、と言う。試合のレースでも、遠山の目付けでゴールの奥をみるようにすると、力まずにゴールを駆け抜けることができる。

また、「常の目よりすこし細き様にして、うらやかに見る也 観の目つよく、見の目よわく見るべし」という行（くだり）が、水之巻に目付の事として出てくる。「観の目」、これはまさに和の心である。速い速度で動いている物体を認知する能力が高いことは重要であるが、それは目を速く動かす能力が高いというよりも、「観の目」の能力が高い、ということだと思われる。観の目は、相手の奥（遠い山）をみるようにして、相手の動きに心の目を向ける。五輪書に出てくる「近きを遠くみる」ということである。「見の目」は、目の焦点を置いたところに、心の目も置く目付だ。この目付は、そこに何の字が書いてあるか、その色は赤か、黄色か、といった形や色を中心視野で識別するのに適した目付である。スノーボードやスキーなどで、高速回転をする時に、ボールやフラッグが高速で近づいてくるのを、いちいち「見の目」で直視すると、その先のボールやフラッグが見えずに、回転が遅れてくる。「観の目」で感じながら周辺や遠くの標的も視野に入れて滑るには、「観の目」を強くすべきである。（YOROIの機能性改良に関する基礎的コンセプトの提案 関西大学人間健康学部 小田伸午教授 より引用抜粋）